

石橋小学校 校歌について

1 制定

- ・昭和5年 1930年

2 作詞 熊谷 清高 (くまがい きよたか)

- ・経歴 大正13年神宮皇学館本科卒。女子師範教頭兼舎監，道庁視学道立教育研究所副所長，深川西高校長等歴任

3 作曲 外山 国彦 (とやま くにひこ)

- ・明治～昭和期の声楽家、音楽教育家 全日本合唱連盟理事長
- ・生年 明治18(1885)年
- ・没年 昭和35(1960)年
- ・出生地 高知県
- ・経歴 東京音校〔明治38年〕卒
日本最初の男性歌手。明治末期から大正にかけて、日本人声楽界の草分けとして活躍。のち教育活動に専念し、アマチュア合唱の育成に尽力した。

4 歌詞について

歌 詞	意 味
一 緑に明るる曙の 広野に仰ぐ学舎は 彩雲映ゆる 二荒の 峰より高き 理想もて 我等が道を 守りなん	緑色に輝く夜明けの 広野で仰ぎ見る校舎よ 美しく色づいた雲をしたがえた 男体山の 頂よりももっと高い 志を持って 私たちの進むべき道を 守っていこう
二 輝き明るる 東の み空のごとき 我が行手 夕顔におう 石橋の 石より堅き 心もて 学びの道に いそしまん	輝きながら明ける 東の 尊い空のように 私たちが進む先に 夕顔の実があざやかに色づく 石橋の 石よりも固くゆるぎない 心を持って 学びに向かって 一生懸命取り組もう
三 しのめ告ぐる 鐘なりて 我等が立たん 時は来ぬ 若草萌ゆる あずま野の 涯より遠き 希望もて 訓えの道を ふみゆかん	夜が明けてきたことを告げる 鐘がなっている さあ、私たちが立ち上がる 時が来た 若草が輝く 東の大地に向かって はてしない 希望を持って 教えに基づき 進んでいこう

※子供たちにも分かるように、なるべく意味が変わらないように注意しながら、言葉を変えたり補ったりして訳しました。(訳：須藤克己)